

平成 31 年 3 月 7 日
盛 岡 地 方 気 象 台

観測開始からの気温データセットが完成しました

～より高い精度の気温長期変化傾向の解析が可能となります～

昨日（3月6日）、気象庁から標記の報道発表が行われました。（別紙参照）

これに伴いまして、宮古特別地域気象観測所における、「降雪の深さの月合計値（cm）」（3月）について、「87 cm」（1954年3月）に変更になりましたので、参考までにお知らせいたします。

問合せ先：盛岡地方気象台 担当 調査官 齋藤
電話 019-622-7870 FAX 019-624-3049

平成31年3月6日
気象庁観測部**観測開始からの気温データセットが完成しました
～より高い精度の気温長期変化傾向の解析が可能となります～**

全国の気象台等における気温のデータセット（日平均気温、日最高気温、日最低気温）が完成しました。これにより、気温については、観測開始から全てのデータをご利用いただくことで、より高い精度の気温長期変化傾向の解析が可能となります。

気象庁では、全国の気象台等における過去の観測データについて、順次デジタル化と品質管理を実施して公開を進めてきました。今般、気温のデータセットが完成しましたので、以下のデータを公開します。

1. 新たに公開するデータ

全国の気象台等における気温データ（日平均気温、日最高気温、日最低気温）について、観測開始から1909年までを中心に未公開だった全てのデータを新たに公開します。また、デジタル化と品質管理が済んだその他の要素（雲仙岳と西表島の降水量、一部官署における日最大風速や降雪の深さの日合計等）についても公開します。さらに、これらのデータを基に、月別値・年別値・極値等を再計算しました。

これらのデータは、気象庁HP「過去の気象データ検索」で平成31年3月7日（木）以降にご利用いただけます。

2. 想定されるデータ利用

月最高気温、月最低気温、真夏日日数や猛暑日日数などのデータが観測開始まで作成されたため、より長期間の気温変動の解析が可能となり、地球温暖化を含む気候変動の監視や調査研究、気候変動の影響評価等への利用が期待できます。

問合せ先：気象庁観測部 計画課情報管理室 担当：道城

電話 03-3212-8341（内線4156） FAX 03-3217-3615